

## お知らせ

「災害看護Ⅰ」の講義が開講します。この科目は、新カリキュラムで新設された科目で、4回目の講義では、手話通訳士と防災士の資格をもつ外部講師から講義を受けます。新設科目でもあるため、この講義によりどのような学習効果があったかを研究したいと考えています。研究の対象になる方は2年生で、講義終了後に課題レポートを書いて頂きます。

このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる学生さんお一人お一人から直接同意を得るではありません。

この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の「問い合わせ先」へご照会ください。

### 【研究課題名】

手話通訳士より「災害看護」の講義を受けた看護学生の学び

【研究機関】 国立病院機構愛媛医療センター

【研究責任者】 佐伯香織（看護学校 教員）

### 【研究の目的】

「災害看護Ⅰ」は、新カリキュラムで新設された科目です。当校の所在地である愛媛県は、南海トラフによる巨大地震の可能性が高まっており、また近年の防災対策や災害医療、災害看護への期待の増大より、「災害看護Ⅰ」（2年次）「災害看護Ⅱ」（3年次）を各1単位15時間ずつで構成しています。「災害看護Ⅰ」では、災害看護に対する基礎知識を身につけることを目的としています。そのため、災害看護に対し関心を持って頂けるよう、4回目の講義では、手話通訳士・防災士の資格をもつ外部講師から講義を受けます。東日本大震災で、実際に救援者として支援された経験を含め、手話通訳士の立場から看護師となる皆様へ伝えたいことなど、講義して頂きます。

皆さんには、講義を受けた後、今回の講義を通して印象に残った内容について、課題レポートに記載して頂きます。課題レポート提出後、記載内容から、学習効果や影響について確認するための研究を行いたいと考えています。研究を通して、3年次に履修する「災害看護Ⅱ」に向けて、より効果的な授業展開を導けるよう、示唆を得たいと考えています。

### 【研究の方法】

手話通訳士で、救援者としての経験のある外部講師より、「災害看護Ⅰ」の講義を受けたことで、どのような学習効果があったかを、講義後の課題レポートから学びを分析しカテゴリー化します。

（対象となる方） 2年生の学生さん

（利用するもの） 提出された課題レポート

### 【個人情報の取り扱い】

提出されたレポートは、学籍番号、氏名など学生さんを直接特定できる個人情報を匿名化いたしますので、個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。

また、研究結果は、学会発表や論文での発表に使用しますが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

この研究の対象となられる方で、「記載した課題レポートは使用しないでほしい」と望まれる方は、下記のお問い合わせまでご連絡ください。

【問い合わせ先】

国立病院機構愛媛医療センター附属看護学校 教員 佐伯香織

〒791-0281 愛媛県東温市見奈良 1545-1

TEL : 089-990-1830